

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公表番号】特表2004-526011(P2004-526011A)

【公表日】平成16年8月26日(2004.8.26)

【年通号数】公開・登録公報2004-033

【出願番号】特願2002-563261(P2002-563261)

【国際特許分類】

C 10 L	1/08	(2006.01)
C 10 L	1/00	(2006.01)
C 10 L	1/06	(2006.01)
C 10 L	1/192	(2006.01)
C 10 L	1/183	(2006.01)
C 10 L	1/182	(2006.01)
C 10 L	1/18	(2006.01)

【F I】

C 10 L	1/08	Z A B
C 10 L	1/00	
C 10 L	1/06	
C 10 L	1/18	A
C 10 L	1/18	B
C 10 L	1/18	C
C 10 L	1/18	Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成19年2月19日(2007.2.19)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項6

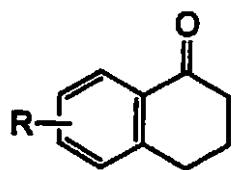
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

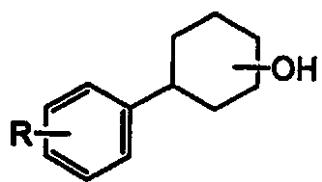
【請求項6】

圧縮着火内燃機関にて用いる燃料であって、主要成分としての有機物留出物と、燃料の酸素含量が0.2%~10%酸素の範囲にあるような量の1種以上の酸素含有有機化合物と、を含み、酸素の少なくとも10%は、

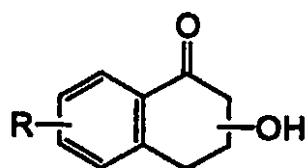
【化1】



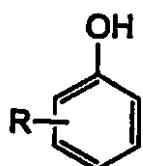
TYPE I



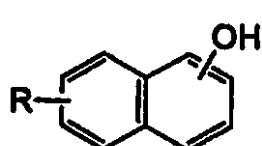
TYPE II



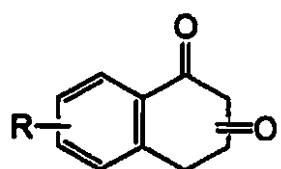
TYPE III



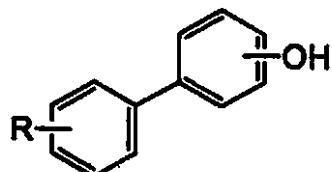
TYPE IV



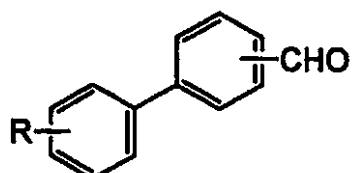
TYPE V



TYPE VI



TYPE VII



TYPE VIII

(式中、Rは、水素又は1～約10個の炭素原子を含む炭化水素ラジカルである、但しType I、V及びVIにおいてRは水素ではない)

により表されるアリールオキシジェネート中に含まれ、

該燃料は、ASTM D93で測定した場合に少なくとも38%の適切な引火点を示し、15 ppm未満の硫黄を含有する、燃料。